

COUNTRY RISK WEEKLY BULLETIN

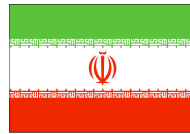
25 March, 2009

IN THE HEADLINES



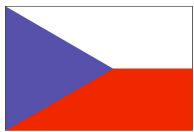
世界経済

IMF はその融資ファシリティーについて大幅な見直しを行うと発表し、新しくフレキシブルクレジットライン(FCL)、拡大したスタンバイ取極(SBA)、および簡素化されたコンディショナリティーなどが上げられる。FCL は更新可能で、上限がなく、前払いの性質のファシリティーで(当初6乃至は12ヶ月)、予防的なものとしても利用でき、事前に決められた適格性の基準を満たす経済が利用できるものである。これらの基準とは基本的に健全な政策、強固な対外流動性、維持可能な債務水準と外国の資金調達市場へのアクセスが可能など、などがあげられる。FCL は昨今の世界規模の金融危機によって影響を受けた基本的には健全である新興国を他と差別化し、その有用な後ろ盾となる一方で、SBA は通常の IMF の支援を必要としている国に対する拡充策と捉えることが出来るだろう。



イラン

米国のオバマ大統領のイランに対して新しい関係を構築しようという申出は、米国－イランの二国間および国際情勢に対して、必要とされてきた新しい動きを与えるものだろう。アヤトラ・ハメネイ師による否定的といわれる反応によって前進が妨げられることはないだろうが、30年もの厳しい関係の後では関係構築は簡単なものではない。イランは地域での主要なメンバーとして認められ、国際的な地位も高めたいとしているが、現状は経済制裁にあり、資産は凍結され、核保有への野望に関連する議論が起こっている。これらの問題に対して早急な解決がされると期待するべきではなく、とりわけテヘランの関心は6月の選挙にあることもあり、商業と貿易は引き続き抑制されたものになるだろう。



チェコ

トポラーネック首相率いる中道右派の少数派の政府は24日、不信任投票で敗北した後崩壊した。新しい政府が樹立されるまで首相は代理人となる予定だが、前倒しの選挙が必要になってくるだろう。この選挙の実施はチェコでは時間がかかると思われる。野党のリーダー・パロウベク氏は経済危機を打破するためにテクノクラート(官僚)による政府を提案した。チェコの6ヶ月のEU代表期間の途中で行われた昨日の投票は、EU代表(としての力)を弱め、経済問題を解決するためにEU全域において効率的な施策が必要なこの時期におけるEUの政策実施を困難にさせるだろう。



ハンガリー

少数派社会党(MSZP)党首であるジュルチャーニ首相は先週末辞任を申し出、議会による信任投票を4月14日に実施することを発表した。IMFプログラムの下に導入された緊縮政策に対する反発が高まる中、MSZPは自分たちよりも政治的、社会的な支持を集めることが出来る官僚による(テクノクラートによる)政府を求めている。しかし、最大野党のハンガリー市民連盟(FIDESZ)は早期の選挙実施を呼びかけている。いずれの状況においても、現在の緊縮政策を実施する意思と能力がある首相を選ぶことが出来なければ、金融・経済崩壊のリスクは増すことになるだろう。

ALSO IMPORTANT---



イスラエル

ネタニヤフ氏のリクード党は中道左派の労働党の支持で連立政権を形成しつつある。ネタニヤフ氏を首相、バラク氏を防衛大臣とするリクード－労働党主導の政権は、超保守的および過激なグループの影響を抑制できるかもしれない。このような幅がある政権はアメリカおよび中東広域での警戒を和らげるだろう。しかし、既存の国際条約を遵守すると誓約したネタニヤフ氏だが、過去には独立したパレスチナ国家に反対していたこともあり、中東地域の平和交渉に重大な進展が起こることは期待できないだろう。



アゼルバイジャン

広く予想されていた通り、先週の選挙に訪れた人は憲法改正を支持した(投票率65%、92%が支持)。この中には大統領の任期の有限化の撤廃も含まれ、アリエヴ大統領が永久にその座に留まるための道筋が出来つつある。しかし、大統領は世界的な経済危機の影響に対処する必要がある。2005-08においては成長率が22%であった高い原油依存の経済は、今年1月には前年同期比2.6%縮小した。低迷の長期化は政治エリートおよび国民の間で不満を高まらせ、2013年にアリエヴ氏が大統領としての3期目に立候補する前にその権力に対抗してくるかもしれない。

COUNTRY REVIEW SUMMARIES



メキシコ

カルデロン大統領の国民行動党(PAN)は、7月の中間選挙において制度的革命党(PRI)にその地位を譲ることになりそうである。しかし、麻薬がらみの暴動がいくつかの州で起きているものの、国の全体的な安定は短期的には確保されるだろう。信用収縮、減少する輸出と下落するメキシコペソの影響を受け、2009年にGDPは3%縮小することになる。金融政策は急速に緩和してきているが、財政ポジション－2009年においては拡張的－は2009年以降には殆ど役に立たないだろう。外貨の資金需要は大きいものの、対外的な流動性ポジションが十分であることおよび対外債務比率が低いこともあり、国際収支支払い危機は回避できると思われる。しかし、企業に対する圧力は高く、多くは米国経済の回復にかかっているといえる。



ガーナ

昨年末の選挙は自由かつ公平であると見なされ、新愛国党(NPP)のジョン・クフォー氏が大統領の座から降り、国民民主主義党(NDC)のジョン・ミルズ氏が国家元首となった。ガバナンスと市場寄りの経済改革にかけては、ガーナは国際機関からは開発援助の見本とされている。しかし、平均年収は依然として低く、経済は金とココアの不安定な収入(ともに輸出の30%ずつを占める)に依存している。但し2010年からは原油の生産も始まるとされている。弱い世界経済の下では、財政および経常収支赤字は拡大するだろう。GDP成長率は2009年には3-4%まで下がることになるだろう(2000-08の平均は5.3%だった)。

IN BRIEF

リトアニア
南アフリカ

S&P は当該国のソブリン格付けをBBB+からBBB(ネガティブ)に格下げした。
中央銀行の金融政策委員会は3月24日、ベンチマーク金利を100bp引き下げた。

Edited by Andrew Atkinson

The content of the report (which is subject to change without notice) reflects only our opinion, which is based on information received by us. Accordingly no warranty, representation or other assurance is given as to the accuracy or completeness of the report. The report is for general information and is not intended to address any requirements you may have, for which you must obtain independent advice. The report does not constitute any form of advice, recommendation or arrangement by Euler Hermes UK plc or by the Euler Hermes Group of Companies and must not be relied upon in the making of any decision, agreement or arrangement. © Euler Hermes UK plc 2008.